

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㉔	d	e
			5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☒ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☒ ☐ 4. 担当技術者(定めていない場合は管理技術者)は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☒ ☐ 5. 担当技術者(定めていない場合は管理技術者)は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☒ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべき優れたものである。 ☒ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 []						☐ 実施体制及び 執行計画につ いて、調査員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 実施体制及び 執行計画につ いて、調査員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c						①「評価対象項目」のうち、(選択)の■は必須項目とし、□は、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(6)	

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㊦	d	e
			5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
実施状況 の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. テクリスへの登録申請を調査員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☒ ☐ 4. 調査員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 調査員の指示事項に迅速に対応している。 ☒ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☒ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☒ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☒ ☐ 9. 業務計画書の業務工程(表)は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☒ ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 12. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 13. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。						☐ 執行管理について、調査員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、調査員の文書による改善指示に従わなかった。

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㉔	d	e
			5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
	執行管理 (2/2)	<div>(選択(評定</div> <div><div>☐ ☐ 14. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。</div><div>☐ ☐ 15. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を調査員に提出している。</div><div>☐ ☐ 16. その他〔<div></div>〕</div></div> <div>㉔評定は1～16のうち</div> <div>評価値が90%以上 a</div> <div>評価値が70%以上90%未満 b</div> <div>評価値が70%未満 c</div> <div><div>①「評価対象項目」のうち、(選択)の■は必須項目とし、□は、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。</div><div>②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</div><div>③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(8)</div></div> <div data-kind="ghost"></div> <div data-kind="ghost"></div>							

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㊦	d	e
			10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ■ ☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ■ ☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ■ ☐ 3. 基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ■ ☐ 4. 埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。 ■ ☐ 5. 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ■ ☐ 6. 設計計算書、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 ■ ☐ 7. 受取対象物の照査のみならず、仮設工及びコスト縮減、建設副産物対策の妥当性についても十分な照査が適正に行われている。 ■ ☐ 8. 現場条件に対応した施工方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ■ ☐ 9. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ■ ☐ 10. 業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に調査員の承諾を得ている。 ■ ☐ 11. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ■ ☐ 12. 設計業務等の実施に当たり、現地踏査を行い設計等に必要な現地の状況を把握している。						☐ 品質管理について、調査員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、調査員の文書による改善指示に従わなかった。

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㊟	d	e
			4	3	2	1	0	—	—
実施状況 の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ライフサイクルコストや新技術の活用など総合的かつ有効的なコスト縮減の提案がなされている。 ☐ 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述() ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可) ●評価点 4点(a), 3点(a'), 2点(b), 1点(b'), 0点(c)を入力してください * 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。							

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㉔	d	e
			6	-	3	-	0	-3	-6
説明調整能力の評価	説明調整能力	●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。							

㉔評定は1～8のうち

評価値が90%以上 a

評価値が70%以上90%未満 b

評価値が70%未満 c

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	◎	d	e
			10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
結果の評 価	成果物の 品質	●評価対象項目 (選択) (評定) ■ □ 1. 設計業務成果概要書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説しとりまとめられている。 □ □ 2. 設計計算書もしくは構造計算書は、設計条件、出典根拠、計算プログラム、モデル図、アウトプットデータがわかりやすく整理されている。 ■ □ 3. 設計図面は、特記仕様書に基づき、適切な縮尺、配置により必要事項が漏れなく記載されている。 ■ □ 4. 数量計算書は、計算方法や計算手順が明確である。 ■ □ 5. 概算工事費は、適用する積算基準書に基づき構成され、採用する単価が妥当である。 ■ □ 6. 施工計画は、工事実施に当たって必要な事項の基本的内容が記載されている。 ■ □ 7. 現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 ■ □ 8. 数量計算書は、適用する各基準に基づき、工種別、区間別に取りまとめられている。 ■ □ 9. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 □ □ 10. その他〔 〕 ◎評定は1～10のうち 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c						□ 成果物について、調査員が文書で改善指示を行った。	□ 成果物について、調査員の文書による改善指示に従わなかった。
		①「評価対象項目」のうち、(選択)の■は必須項目とし、□は、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(8)							